



シンボルマーク

シルバーおやべ

第 53 号

令和 5 年 1 月 10 日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67 - 4804
FAX (0766) 67 - 5515
<https://oyabe-sjc.jp/>

瑞祥新春
癸卯元旦
みすのとう



城下町出石（兵庫県豊岡市）「辰鼓楼」を背景に

ヨシッ!

令和 4 年度 安全就業スローガン

無理しない 心のゆとりで 安全就業

埴生地区 吉田 外茂治

シルバー人材センター理念

シルバー人材センターは、

《自主・自立、共働・共助》

を理念とし、会員自らが運営に参画する組織です。

会員数 339名 (男性215名・女性124名) 令和4年12月31日現在



「楽しいセンター」を皆で

より広げていきましよう

理事長 野澤敏夫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに初春をお迎えになられたものと心からお慶び申し上げます。また、日頃より仕事を発注いただいている皆様方には、輝かしい新春とともに益々のご隆盛をご祈念申し上げます。

この時節、我が家の台所の長戸からは、サザンカの赤い花が今も咲いているのが見えます。寒い冬に向かって咲くサザンカの花言葉は「困難に打ち克つ」だそうです。

世界ではウクライナでの戦禍が続く、大幅な円安が物価高をもたらしている一方で、残念ながら来年度からはインボイス制度がシルバー人材センターの活動にも適用されること避けられない情勢となっております。いくつもの困難な課題が私達を取り巻いています。振り返ればいつの時代も困難は伴っており、これまでも私達はその困難を乗り越えてきました。

令和4年は11月末時点で、会員が8人増となり、私たちの仲間が増えました。

新企画の「ふれあい市よってかれ」をはじめ、シルバーウォーク、会員互助会親睦旅行、そば打ち体験、ボランティア活動など、多くの事業を実施することができ

ました。いずれの事業も会員の皆さんに「シルバーは楽しいところ」と思っていただけのを第一の目的として、専門委員会や互助会役員等の皆さんが企画・運営してこられました。シルバーの会員自身がシルバーの活動を楽しみに感じる事が、様々な困難に打ち克つ力になるものと思います。

更に昨年は市長寿会との懇談会や新規事業「暮らし救援隊」など、次につながる取組がスタートし、会員拡大・就業拡大においても新たな可能性が広がっております。

跳躍する兔の如く、今年が小矢部市シルバー人材センターのより大きな発展の年となるよう皆さんと共に力を合わせてまいりたいと存じます。本年もよろしくお願ひいたします。



謹賀新年

本年もよろしく

お願い申し上げます



理事長 野澤敏夫

副理事長 中村利夫

専務理事 坂田力

理事 野沢弘一

高西久文

山口善嗣

山谷博道

山元一豊

山田操

田村栄子

長井忠昭

吉田外茂治

高内広

山作芳美

井淵光紀

山田富雄

監事



ごあいさつ

小矢部市長 桜井 森夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに清々しく令和5年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より、市政発展に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、市内各施設の除草・清掃・剪定を始めとした管理業務等において、行政サービスの一翼を担っていただいておりますことにも、深く感謝申し上げます。

貴センターにおかれましては、高齢者の「健康で生きがいのある生活の実現」と「地域社会の福祉の向上及び活性化」に向け、「自主・自立による運営、共働・共助による就業」の理念に基づき、就業機会の提供やボランティア活動などを通じて多大なるご貢献をいただいております。市民ニーズが多様化する中で、新たに「シルバーくらし救援隊」を始められるなど、時代に即したサービスを展開しておられますことから、今後も引き続き、市民生活における利便性をより一層高めるような取組を期待しているところです。

昨年、本市は市制施行60周年を迎えることができました。暦が一巡したことから初心に立ち返り、先人から受け継いだ「人」、「土地」、「地域資源」、

これらを再評価して次なる70年、100年に向け、より一層発展させてまいりたいと考えております。

また、令和2年1月の国内第一例目の感染以来、丸3年が過ぎようとしている現在でも、新型コロナウイルス感染症には未だ終息の気配は見られませんが、引き続き、ワクチン接種体制を維持するなど感染防止対策に全力を挙げるとともに、ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、傷んだ市民生活や地域経済の再生にも力を注いでまいります。

本市は、5年目を迎える第7次総合計画に掲げる「魅力・安心・充実 しあわせ おやべ」の実現に向け、市民の誰もが心身ともに健康に、ともに支えあう温かな福祉環境の中で暮らすことができるまちづくりを目指したいと考えておりますので、皆様方には、どうぞ今後ともご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターのさらなる飛躍と、会員皆様ますますのご健勝とご多幸を祈念いたします。新年のごあいさついたします。

小矢部市への支援要請について

令和4年9月27日に小矢部市長桜井森夫様、小矢部市議会議長義浦英昭様に対し、当センター野澤理事長、中村副理事長、坂田事務局長が令和5年度の運営・事業費補助金、令和5年10月から始まるインボイス制度への対応等について要望を行いました。



市長への要望



議長への要望

委員会
だより

今年度これまでの活動を報告します。

会員増強・就業拡大委員会

これまでに4回の委員会を開催。「新規会員の獲得と連携強化」「就業機会の拡大」両面から、課題の整理と対応策を議論しています。

[実施事項・検討事項]

- ・新規会員の獲得のための会員紹介カードの作成、ポイント制度の見直し
- ・準会員制度づくりと会員割引制度の導入
- ・女性会員対象の講習会の実施（12月23日）
- ・新生活支援サービスなど独自事業の取組み
- ・会員連携強化のためのシルバーショップの開催や地区懇談会の充実
検討事項を整理して、できることから順次実行していきます。



広報・イメージアップ委員会

これまでに6回の委員会を開催。「シルバーおやべ」を発行するとともに、チラシやパンフレットの作成などのシルバー人材センターの普及やイメージアップの方法について議論しています。

[実施事項・検討事項]

- ・「シルバーおやべ」第52号（8月）、第53号（本号）の発行
- ・お仕事説明会チラシの発行
- ・会員加入促進用チラシ・発注者向けチラシの作成
- ・市長寿会連合会との意見交換会（8月31日）
- ・ホームページの見直し、その他センターのイメージアップにつながる事業実施



地区連絡委員会

昨年度まで実施していた「地区懇談会」ですが、今年度からは、地区内の会員同士の交流をより深めたいとの趣旨から「地区交流会」として開催します。地区交流会の開催に向けて、沢山の会員が参加されるよう企画します。

- ・定時総会の出席の取りまとめや運営協力（5月26日）
- ・シルバーの日ボランティア活動の活動協力（10月12日）
- ・地区交流会（2月）実施の企画運営



安全管理委員会

安全管理委員会では「事故ゼロ」を目指して安全対策・安全パトロールを進めてまいりましたが、昨年は梅雨時期が短かったためか、事故が多発しました。今年はこの事故の原因を精査し事故を半減できるよう活動していきたいと思っています。

会員の皆様には、本年も安全・適正就業にご理解とご協力をお願いいたします。



事故発生状況（令和4年4月～11月）

熱中症 (機械刈) 1件	へび咬傷 (除草) 1件	虫(ハチ等)刺され (校舎内外清掃、剪定、機械刈) 5件	転倒による骨折 (清掃) 1件	交通事故 (就業途上) 1件	飛石による車両破損 (植栽管理、機械刈) 2件	シャッター破損 (剪定) 1件	施設備品破損 (宿直) 1件
--------------------	--------------------	------------------------------------	-----------------------	----------------------	-------------------------------	-----------------------	----------------------

☆例年に比べて事故発生件数が増加しています。

☆冬季は転倒事故が発生しやすくなります。路面凍結等に十分ご注意ください。

シルバーの日

令和4年10月12日 水曜日



クロスランドおやべにおいて、小矢部警察署地域交通課長飯田一夫警部を迎え、歩行者、自転車、ドライバーごとの交通安全について説明がありました。

交通安全講習会の終了後、約80名の会員が参加しクロスランドおやべパターゴルフ場や総合保健福祉センター、農村環境改善センター周辺の清掃活動を行いました。



会員のつどい

ボランティア活動終了後、会員互助会から弁当とお茶が配布されました。例年、会員同士の交流の場となっていましたが、昨年度に続き今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、会食は中止となりました。



会員寄稿

昨年の秋、近くの紅葉を楽しもうと倶利伽羅峠を訪れました。埴生交差点から源平ラインを車で上ると倶利伽羅山頂の手前に猿ヶ馬場という地名のついた場所があります。

ブナ林の自然林があり、その昔、猿が群がって旅人を悩ませた。その折、ある僧が、「猿に餅をついて赤く塗って与えたらよい」というので、そうしたら野猿の群れはいなくなったとの言い伝えがあり、猿ヶ馬場という地名がついたといわれています。そしてその猿ヶ馬場には小さな石で出来た祠があり、そこに野猿の霊を祀ってあることから、それは猿堂と呼ばれています。

猿ヶ馬場は標高約250メートル、源平倶利伽羅合戦で平家の総帥平維盛が本陣を布いた跡で、ほぼ30メートル四方の平坦地になっており、芭蕉が詠んだ《義仲の寝覚めの山か月かなし》の句碑をはじめ、前述の猿を祀る祠や、平家陣営の軍議の跡、そして火牛の像、など思い出深い歴史上由緒ある地であります。

春には倶利伽羅不動寺に通じる道路の両脇に、高岡の花咲爺さん「高木勝巳さん」が植えられた、約4,000本の桜並木の花が見事に咲き誇り私たちの心を癒やしております。

この日は、猿ヶ馬場から大台平間を歩きました。往復約600メートルのウォーキングで上りは少しきつかったのですが、秋晴れのもと紅葉を楽しんだ1日でした。



今年「年男・年女」を迎えられた 会員の皆様にお聞きしました!!



- ① シルバ－に入会された動機
- ② 「年男・年女」として今年1年の抱負(思うこと何でも結構です)
- ③ 日頃より健康管理に気をつけていることは
- ④ 趣味は何ですか

南谷地区 山元 一豊

- ① 退職後1年ほど家に居ましたが、健康の為でもあり直接シルバ－人材センターに入会しました。
- ② 家族共々、一年健康で生きればいいです。
- ③ 食事と軽い運動(ウォーキング)
- ④ カメラ、ゴルフ

南谷地区 渡辺 すみ子

- ① 母が亡くなり、時間的に余裕が出来たから。
- ② 毎日楽しく生活すること。
- ③ なるべく体を動かすこと(軽い運動)
- ④ 週2回のビーチボール

菟波地区 藤井 金蔵

- ① 会社を退職して暫く家に居たが、趣味と生活のため入会した。
- ② 1年間何事もなく健康で過ごしたい。
- ③ 腹八分目に気を付けている。
- ④ 野球、旅行、会食

水島地区 中山 澄江

- ① 幸い元気ですので、家ばかりにいたるより、人と交わっていたくて入会した。
- ② 自分に出来ることには、何でも積極的に参加する。
- ③ なるべく自転車や徒歩で体を動かす、その際スーパーの袋を2、3枚持って行き、ゴミ拾いをしています。
- ④ 桜町遺跡のボランティア。週1回の「いきいき百歳体操」で近所の皆さんと顔を合わせること。

南谷地区 村上 保英

- ① 第2の職場も定年退職し暇を持て余していたとき、近所にシルバ－人材センターで楽しそうに働く人を見て、自分もシルバ－人材センターで働きたいと思い入会した。
- ② 運転免許の認知機能検査もなんとクリアでき、新年早々に運転免許の更新ができそうなので、「やわやわ運転」に心がけ、シルバ－人材センターの仕事や行事に参加したい。
- ③ 暴飲・暴食を慎み、積極的に体を動かすように努めている。
- ④ 読書とウォーキング、毎年1回以上津幡町の倶利伽羅不動尊に徒歩でお参りを13年間続けてきたので、今年も4月か5月の28日に お参りしたいと思っている。

宮島地区 宮本 功雄

- ① 会社退職後、園芸高校に入学、卒業の際シルバ－人材センターの事業紹介があったことと、地域活動で長寿会の役員から紹介されたこと。
- ② 健康が一番大事
- ③ 健康には気を付けているが、現在、病気療養中で日々の健康管理には特に気を付けている。
- ④ ウォーキング、昔は歌を歌うことが好きだったが、今はクラシックギターの学校に行き、ギターを習うこと。

水島地区 高田 富男

- ① ボランティア活動して友人から誘われたから入会した。
- ② 今年1年が平和であることを願う。
- ③ 毎日の散歩と晴れた日の立山連峰を見ること。
- ④ ドライブ、花などの庭木いじり。

北蟹谷地区 森 美乃利

- ① 空いた時間を有効に使いたいと思い入会した。
- ② 健康が一番であり、今年は沢山旅行して美味しいものを食べ歩くこと。
- ③ 好き嫌いがなく、よく食べ、よく寝て体を動かすこと。
- ④ 働くこと。

水島地区 前田 実

- ① 親しい友人がシルバ－人材センターに行っており、その人の勧めで入会した。
- ② 健康で毎日楽しい生活が出来ること。
- ③ 辛い病気がない病気がないので、現在の状態を維持すること。
- ④ バンド、盆栽

西部地区 永井 ちか子

- ① 東部公民館での桜町遺跡講座に参加し、その流れから縄文パークでボランティアを続けていたら、いつの間にかシルバ－人材センターに入会していた。
- ② 8回目のうさぎ年です。お陰様で長生きさせていただきました。今年は「ケガをしないこと」「お断りする勇氣」をもって自分のペースを守っていくことです。めざせ9回目のうさぎ。
- ③ これまで健康で過ごせたことは、健康に生まれた幸運と普通に規則正しく毎日を過ごしたことです。これからも7時朝食、12時昼食、17時夕食と規則正しい生活をしていくことです。
- ④ 畑の草むしりや花を摘んで無の心になれる瞬間が好きです。畑では1年間は花を絶やさないことを目指していきます。

菟波地区 萩沢 文夫

- ① 体が元気な内は、仕事をしたいと思って入会した。
- ② 健康第一、病気に負けないようにすること。
- ③ 足腰は程よく鍛えておくことにしています。散歩等で歩数を気にかけて運動しています。
- ④ パークゴルフ、スポーツ観戦

松沢地区 前田 貴充

- ① 退職を機に体を動かして、もっと心身を丈夫にしたいと思い入会した。
- ② 病気やケガのないように働くこと。
- ③ 体力に併せた運動に励みたい(ウォーキングなど)
- ④ 気ままな旅行

津沢地区 金谷 仁章

- ① 会社退職後しばらく家に居ましたが、シルバ－人材センター入会のチラシを見て入会しました。
- ② 健康でケガなく暮らすこと。
- ③ よく寝ること。
- ④ ドライブ

菟波地区 澤田 政治

- ① 友人から誘われて入会した。
- ② 今年は節目の年であり、仕事に健康に気を付ける。
- ③ 3食しっかり取ること。
- ④ 特にありませんが健康のためのウォーキング。



会員の

シルバ－人材センターの
会員になって
石動西部地区 宮口 はるみ

入会して半年経ちました。昔から60歳になったらシルバ－に入るもんだと思ってきましたが、気が付いたら10年も経っていました。

仕事を辞め、ハローワークへ行ったら、「次の仕事は？」と尋ねられました。資料の中にシルバ－人材センターの説明会の案内があり、ハローワークの方のすすめもあって説明会に参加し、その日に入会登録をしました。

お仕事の内容は、高齢者宅を訪問して、1時間以内でできる清掃、洗濯や調理などを行う「介護予防・生活支援サービス」に就業しています。

長い間、地区社協に携わり、高齢者の方との関わりは慣れていたので、利用者宅を訪問し、一緒に掃除や調理をしながら楽しく仕事をしています。

訪問中は、世間話をしたり、本人の様子をみたりして、健康状態などを確認して、いつもと違う様子があったり、気付いたことがあったらその都度報告しています。

今後も利用者の皆さんに喜んでいただけるよう頑張りたいと思います。

これからも宜しくお願いいたします。



互助会だより

天橋立・城崎温泉の旅

若林地区 細川 和作

令和四年十月二十日〜二十一日、シルバーの会員親睦旅行が実施されました。両日とも天候に恵まれ、バスガイドさんの絶妙なトークに、二十八名の参加者も十分に満足されたことと思います。主な旅行先の事柄について、報告致します。

「天橋立」：日本三景（松島、厳島）の一つで、今から四千年前に河川から流出された砂礫が、左右の海流の影響で砂州が形成され、高所から股覗きすると左右の海が天に見え、砂州が天に掛かる橋に見えたところから、天橋立と云われたとのこと。ロープウェイの終点広場から股覗きすると、なるほど「天橋立」でした。

「城崎温泉」：宿のお取り計らいで、バスによる外湯への送迎をしてもらい、肌によさしい泉質に浸ることが出来ました。夕食にはカニや地元産肉や松茸など美味しい料理の数々に舌鼓しながら、地酒やビールに酔いつつ、参加者と親睦を深めることが出来ました。

「コウノトリ公園」：日本の特別天然記念物コウノトリが、日本で一羽のみ（豊岡市）となってしまうことから、ロシアから六羽のコウノトリ提供と、地域住民の協力を得て、田畑の農薬使用を止め、コンクリート側溝を撤去し、自然水路に変更するなど、餌となるドジョウやタニシや川魚などが生息できる環境整備を、地道に続けてこられました。その結果、幸せを呼ぶコウノトリの繁殖に成功し、現在では百羽以上が育ち、公園近辺の田畑や川で、多数見られました。

「城下町出石」：豊岡市出石は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている城下町で、但馬の小京都とも呼ばれ、城下のシンボルは「新鼓楼」という日本最古の時計台です。また、三百年前から続く伝統的な「皿そば」は、何とも言えず美味しかったです。当然、地ビールと共にわかり注文しましたが、あの味は今も忘れません。

今は第八波の新型コロナと、季節性インフルエンザの同時流行が危惧されており、マスクや消毒などの対策を講じ、会員の皆様方、マスクや消毒などの対策を講じ、元気で、来年の親睦旅行に参加しませんか。



シルバーウォーキング 10月15日(土曜日)

「階段ウォーキングでクロスランドタワー展望台フロアを目指そう！」に参加して

南谷地区 橋本政子

ウォーキングの目的地「クロスランドタワー」と聞いて「え？」と思いました。ウォーキングというと青空の下で美味しい空気を吸って汗を少しかいて、とイメージしていた私には「参加したくないな」というのが本音でした。シルバー世代には膝が大丈夫だろうかというのも心配でした。階段の数は500段との事、植生八幡宮の階段5個分「どうにかなるかな」と思い覚悟を決めて参加しました。

当日はお天気が良く参加者17名でした。

クロスランドに登る前にクロスランドタワーの基礎知識と思い、「平成6年5月に完成し目的は文化、芸術、経済の交流拠点、高さ118メートル 展望台は100メートル、北陸道、東海北陸道、能越道の3本の高速道路がクロスしている。また、12メートルの三角形の塔の上に円形の展望室を載せている別名トリックタワーともいわれる」こと等を説明していたら、建設当時のこぼれ話など参加者それぞれの口から色々聞きました。工法が当時としては最先端のものだったとか、また、当センターの野澤理事長が当時、市役所での建設の責任者だったとの事、立地場所も当初の予定地より芝生広場寄りになったなど、建設中のこぼれ話で盛り上がりました。クロスランドの担当者の方から、清掃の事など説明をお聞きして、いざ階段を登りました。2、30段毎に休みながら登りました。登ってみると15分程で展望台まで登ることが出来ました。あっという間でした。膝のほうもサポーターを巻いていましたので、大丈夫のようでした。当日は好天でしたが、遠くは霞がかかり、展望台からの眺望は今一つだったのが心残りでした。

皆さんも、会員相互の交流を深めるためにも互助会行事に振るって参加しましょう！



あの頃、あの時コーナー

理事長 野澤さんが、クロスランドタワー建設当時、市役所で直接携わっておられたと聞き、当時のお話を聞かせていただきました。

Q クロスランドタワーの建設は、いつ頃でしたか？

A 着工は1992年3月で、オープンは1994年5月1日です。

Q その時はどのような部署で携わっておられたのですか？

A タワーも含めクロスランドおやべ全体の整備は「企画調整課リーディングプロジェクト班」が担当し、私はその班長を務めていました。

Q クロスランドタワーの特徴は？

A 最も特徴的なのは、トリックタワーとなっていることです。タワーの中心に位置していたはずの展望フロアが、見る場所によっては中心からずれて見えます。重心の位置は共に中央にありますので展望フロアが落ちることはありません。安心して登っていただきたいと思います。

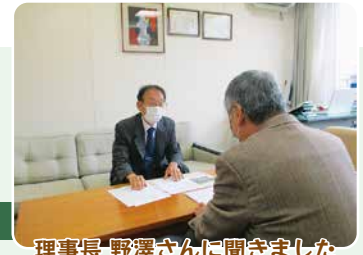
Q 当時の苦労話やエピソード等がありましたら聞かせて下さい。

A 10/15のシルバーウォーキングでは、私も地上100mのタワー展望フロアまで500段の階段を登りましたが、建設中は何度もこの階段を上り下りしました。エレベーターの完成が待ち遠しかったです。また、点検のため命綱を付けて三角トラスの上から眺めた風景は格別でした。

Q 市民の中には、タワーが市の公共施設再編の対象とされ、エレベーターの故障時をもって使用不可になるとの認識をもつ人もいますが…

A それは誤解です。事実と実態を確認するため、私が教育長時の令和4年に、有識者や市民の方から成る「検討会」を設置し、タワーを含めたクロスランドおやべ全体の活用策や施設の保全費用の精査等を行っていただきました。その結果、タワーのエレベーターは一般的な部品でも故障に対応可能であることが判明しました。エレベーターが停止してしまう心配はありません。

それは安心しました。クロスランドはタワーも含め県内外にも認知度が高く、小矢部のシンボルであり未永く利用したいものです。今日はお忙しいところありがとうございました。



理事長 野澤さんに聞きました



インタビュー 広報・イメージアップ委員会 谷 博道

小矢部市長寿会連合会より

高齢者の生きがい活動として各種事業を行っています。

ほとんどの方が長寿会会員だと思いますので各種行事に積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

行事案内

・地区交流会

【とき】 2月中に開催予定
【場所】 各地区（4箇所）

・安全就業講習会

【とき】 3月3日（金）
午後2時から
【場所】 クロスランドおやべ
メインホール

※詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合があります。

あとがき

令和5年を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年は新型コロナが収まらず、新たにウクライナ・ロシア戦争がはじまり何かと重苦しい一年だったと思います。

当センターでは新事業としてシルバーふれあい市「よつてかれ」を開催し好評を得ました。また広報・イメージアップ委員会では会員数拡大のため、小矢部市長寿会連合会さんとの間で意見交換の場を設けました。私たち広報・イメージアップ委員会は、いろいろの場でシルバー人材センターのイメージアップに努めて行きたいと思えます。

会員の皆様には、今年も健康で素晴らしい一年となることをお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

広報・イメージアップ委員会

委員 高内 広